

(参考) 令和 6 年度保健事業 (案)

※後期高齢者への事業を含む

特定健康診査・特定保健指導

<特定健康診査>

生活習慣病の予防・早期発見等を目的として市町村国保が実施する健康診査

対象者 : 40歳以上の国保加入者

実施期間 : 5月～10月

自己負担額 : 無料

<特定保健指導>

特定健康診査の結果、生活習慣病該当者または予備軍に該当した場合に実施する保健指導

★新規 令和6年度よりICT機器を活用した、オンラインによる特定保健指導を開始予定

人間ドック補助

国保加入者の人間ドック費用に対して一部を補助

対象者 : 35歳以上の国保加入者

実施期間 : 5月～2月

補助額 : 2万円

国保健康ポイント事業

ポイント事業に参加し、特定健診や各種がん検診、成人歯科健診など、対象の健康づくりを行った国保加入者に対してポイントを付与

⇒一定のポイント達成者に対して抽選で賞品をプレゼント

特定健診

がん検診

成人歯科健診

抽選で賞品を
プレゼント!

糖尿病性腎症重症化予防対策事業

特定健診の結果や診療報酬明細書をもとに糖尿病の重症化リスクの高い医療機関未受診者や受診中断者に対し受診勧奨を行うとともに、糖尿病性腎症のハイリスク者に対し保健指導を実施

がん検診等自己負担額助成

保健センターが実施する各種がん検診を受診する際の本人負担額について、国保加入者が無料で受診できるよう全額を助成

診療情報提供事業

特定健康診査対象者のうち医療機関で治療中の方について、対象者の同意のもと、特定健康診査の代わりとしてかかりつけ医療機関より診療情報の提供を受ける事業



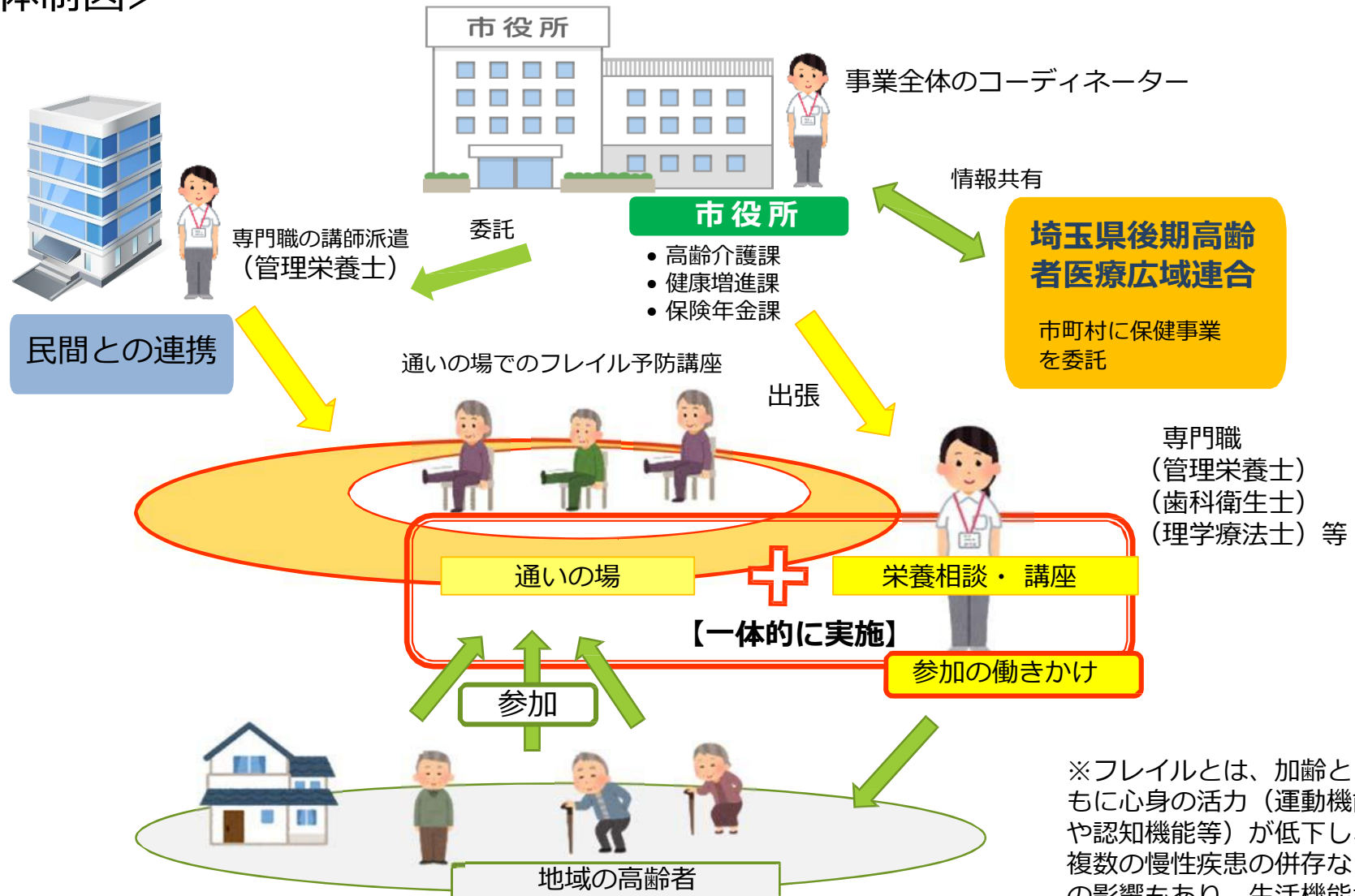
- データの収集範囲拡大により、生活習慣病重症化予防対策に役立てることができる
- 情報提供の結果に応じて、保健師や管理栄養士などによる保健指導を無料で受けることができる

その他

- ・医療費通知 : 定期的に「医療費のお知らせ」を発送
- ・後発医薬品の差額通知 : レセプト情報に基づき、後発医薬品の自己負担について被保険者へ通知し、さらなる利用を促進

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

<体制図>



※フレイルとは、加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態をいいます

保健事業（保険年金課）

- ①コーディネーター（保健師、管理栄養士などの医療専門職）を配置し、一体的実施の企画・調整をする。
- ②国保データベースシステム等を活用して地域の健康課題の分析や、個人の健康課題を把握する。

※市民の積極的な参画を含め、多様な主体が運営

- 「低栄養」「口腔フレイル」「健康状態不明者」に重点をおき、介護状態への移行を阻止する。
- 事業実施により、リスクに応じたサービスを紹介及び提供する。

健康増進事業（健康増進課）

- ①既存の講座や事業に、フレイル予防の視点を加える。
- ②個別相談等で医療専門職からの健康・フレイル予防に関する指導や支援を行う。

介護予防（高齢介護課）

- ①住民が主体となって積極的に参画する機会を拡充する。
- ②通いの場等で医療専門職による健康・フレイルに関する指導や支援を行う。

通いの場等に保健医療の視点でも関与。

健康部門と介護部門の連携により、高齢者のフレイル予防を促進することで、上尾市民の健康寿命の延伸を目指す

上尾市における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

事業目的

75歳以上の高齢者が要介護状態となる要因は、低栄養などからの心身の活力の低下が原因となる割合が高くなっている。フレイル状態を早期に発見し支援・介入することで、「健康寿命の延伸」を目指す。

※低栄養傾向の基準は、「健康日本21（第二次）」において、要介護や総死亡リスクが統計学的に優位に高くなるポイントとして示されているBMI20以下を指標として設定している。

令和6年度事業予定

ポピュレーションアプローチ （高齢者向け健康づくり支援）

高齢者のフレイルに対する意識の向上を目的として、**地域の通いの場等で健康講座を実施**

○定員：1か所あたり20人程度

2圏域での実施を予定

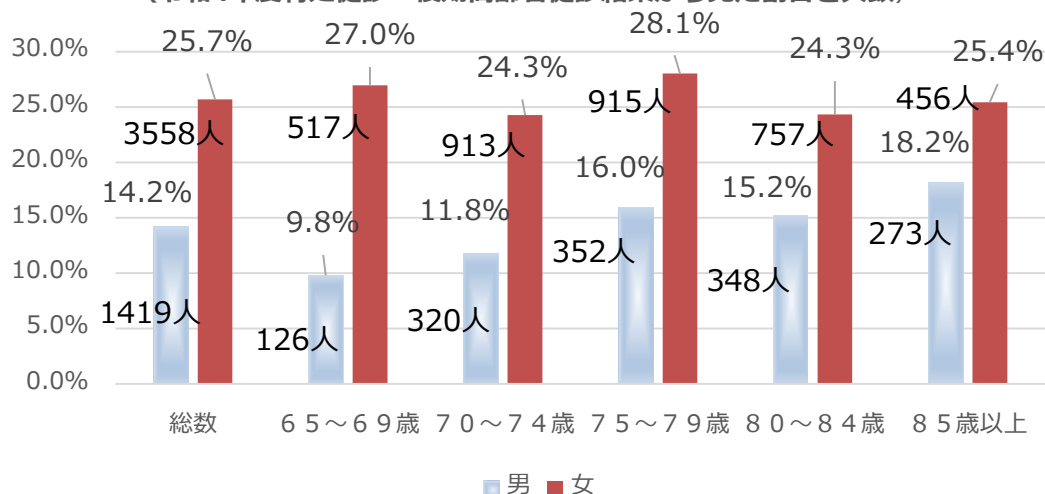
1回120分3回コース

○内容：医療専門職が運動や栄養等の講座を行うとともに、体組成や運動機能に関する測定を行う。

○評価：数か月後にフレイルチェック表やアンケートを実施し、意識の変化や行動の変容について評価する。

上尾市のBMI20以下の性別年齢階級別人数割合

（令和4年度特定健診・後期高齢者健診結果から見た割合と人数）



ハイリスクアプローチ

（フレイルリスクの高い高齢者向け個別支援）

●介護状態への移行を阻止することを目的として、「低栄養」「口腔機能低下」の高齢者に対し、個別相談を実施

○抽出人数：1か所あたり60人程度 2圏域での実施を予定

○内容：個別通知を送付し、希望者や介入が必要な対象者に管理栄養士、歯科衛生士、保健師等による面談や電話を実施し、目標と行動計画の立案を行う。

○評価：アンケートの実施や次年度健診結果の確認等により、健康状態や意識の変化、行動の変容について評価する。

★新規「健康状態不明」の高齢者に対する個別訪問等支援を実施

○抽出人数：1か所あたり60人程度 2圏域での実施を予定

○内容：個別通知を送付し、希望者や支援が必要な対象者に、保健師や管理栄養士が個別訪問等の支援を実施する。